

11 [Heureux qui, comme Ulysse...]

Joachim du Bellay

Heureux qui, comme Ulysse, a fait un beau voyage,
Ou comme cestuy-là qui conquiert la toison,
Et puis est retourné, plein d'usage et raison,
Vivre entre ses parents le reste de son âge!

Quand reverrai-je, hélas, de mon petit village
Fumer la cheminée, et en quelle saison
Reverrai-je le clos de ma pauvre maison,
Qui m'est une province, et beaucoup davantage?

Plus me plaît le séjour qu'ont bâti mes aïeux,
Que des palais Romains le front audacieux,
Plus que le marbre dur me plaît l'ardoise fine:

Plus mon Loire gaulois, que le Tibre latin,
Plus mon petit Liré, que le mont Palatin,
Et plus que l'air marin la douceur angevine.

11 (入訳訳) 『哀惜詩集』 *Les Regrets* (1558) 所収。
1 行「ユリシーズ(原語ユリッス)」はギリシア神話のオディッセウス。
2 行「金羊毛を獲得したあの男」はギリシア神話のイアソン。

11 [幸いなるかな、ユリシーズのように...]

ジョワシャン・デュ・ペレー

幸いなるかな、ユリシーズのように、さてはまた、
金羊毛を獲得したあの男のように、みごとな旅をした者は、
そのあとで、経験と分別をたっぷり具え帰郷して、
余生を、肉親たちのなかで過ごせる者は!

ああ、いつの日に私はふたたび見るのだろう、私の小さな村の
暖炉から煙が立つのを。そしてまた、いかなる季節に、
ふたたび見ることであろうか、貧しいわが家の農園を、
あれは私には一つの王国、いや、それ以上なのだけれども?

ローマびとの宮殿の威圧的な正面に比べても、
私には、自分の先祖が建てた住居のほうが好ましく、
頑強な大理石よりも、きゃしゃなスレートのほうが、

ラテンのティベール河よりも、わがゴールなるロワール河、
パラティヌスの丘よりも、わがささやかなリレの村、
海の気よりも、アンジュー地方の甘やかな風が好ましい。